

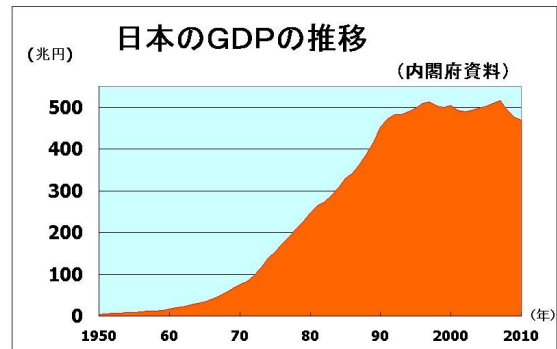
環境と経済（日本の現状と世界のこれから）

【日本の現状】

●驚異的な経済成長を遂げた日本

- ・江戸時代300年間は経済拡大がほとんどなかった
- ・日本のGDPは戦後の高度経済成長と共に急速に増加

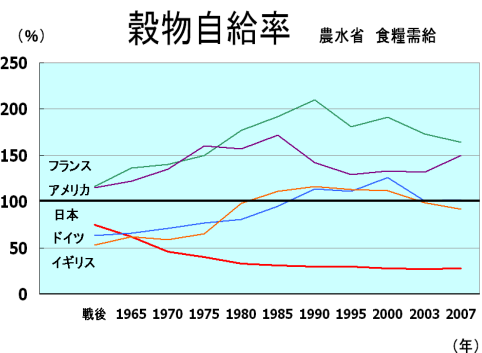
⇒過去50年間で50倍の驚異的な成長



●日本の経済成長の理由

- ・終戦当時、世界の食糧事情は悪化
参戦国の多くは穀物自給率が落ち込んだ
- ・その後、ほとんどの国の穀物自給率が回復したが、
日本だけが低下し続けている
- ・経済政策として第1次産業から第2次産業へ
転換
- ・工業製品は飛躍的に進歩したが、農業は衰退

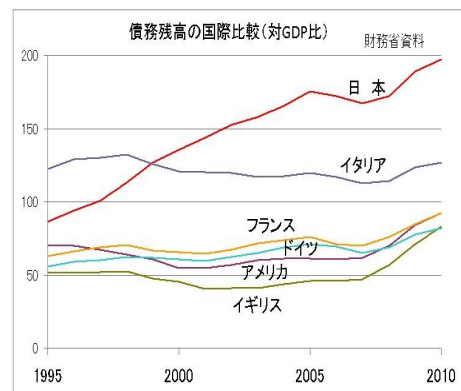
⇒日本の驚異的経済発展は、第一次産業の犠牲の上に実現



●経済成長の裏側にある借金

- ・日本の借金は増え続け、国債、地方債を
合わせて1000兆円を超えている
- ⇒GDPと比較すると約2倍
- ⇒全国民が2年間働いたその総収入分と同じ

⇒日本の豊かさは借金の上に築かれている



●輸入に大きく依存している日本

- ・日本の自給率は世界最低
- ・穀物の72%、エネルギーの96%、木材の72%、
鉱物の90%を輸入に依存している

【世界の現状と予測】

●現状の経済

- ・先進国は原料を安く買い、製品を高く売ることによってより豊かになり、途上国は安く売り、高く買うことでより貧しくなる。
- ・富める人と貧しい人の貧富の差はこの40年で30倍から100倍に拡大した

⇒現状の経済ではみんなが豊かになることはない

●資源の枯渇

- ・経済レベルと資源消費は比例する
 - ・経済成長は資源消費を加速させる
 - ・経済が最大に達したとき資源はゼロになる
 - ・過去の文明はすべて資源枯渇と環境破壊で崩壊した
- ⇒経済の方向転換をしない限り資源の枯渇は避けられない

●環境の破壊

- ・環境破壊の根本原因は現状の経済
- ・オゾン層破壊、地球温暖化、森林破壊など、このままでは破局が避けられない
- ・環境破壊の結果は経済の崩壊、生存基盤の崩壊

⇒経済の方向転換をしない限り環境破壊は止められない

●人口増加と絶対的食糧不足

- ・現状の経済は人口増加を引き起こす
⇒人口は100年間で4倍に
- ・経済拡大は工業化、都市化によって食糧不足が避けられない

⇒現在の飢餓人口は9億人、今後さらに増加する

●世界経済の崩壊

- ・先進国の経済成長は途上国債務の上に成立
- ・先進国の貯金は途上国の借金(サラ金と借金地獄にはまったサラリーマンと同じ)
- ・途上国の借金(累積債務)は返済不能、破産は避けられない
- ・途上国の破産は先進国の破産を意味する

⇒現状の世界経済は必ず破綻する

【私たちに必要なこと】

このままでは資源の枯渇、環境破壊、世界経済の崩壊は避けられません。

食糧、資源、エネルギーなど、あらゆる点で日本が最も危険です。

日本は現状の経済を根本的に見直し、エネルギー消費の削減と自給自足が必要不可欠です。

- ・工業偏重から第1次産業(農業、食糧)重視に転換する
- ・節電、節ガス、省エネを実行
- ・ぜいたくを減らす
- ・4R(やめる、減らす、再利用、リサイクル)が基本